



第 3 回 避難訓練 (不審者対応)

1 月 23 日(水)

今回は、不審者が 1 年 1 組に侵入したという想定で避難訓練を実施しました。不審者侵入の連絡を受け、まずは男性職員が、さす股を持って現場に急行しました。そして、校内放送が流れると、子どもたちは静かに放送を聞き、「お・は・し・も」の合言葉を守って、全員が体育館に避難をすることができました。

今後も、いざというときには、落ち着いてよく考え、互いに助け合って行動できるように、子どもたちの指導を行っていきます。



ポジティブ・コミュニケーション (朝礼から) 2 月 5 日(火)

子どもたちに、2 月 3 日の節分のことを聞いてみると、多くの子が「鬼は外。福は内」と大きな声を出して、豆まきをしたとのことでした。

ボランティア活動を行っている 6 年生の「あいさつ隊」の子どもたちも、毎朝登校時には、大きな声で「おはようございます」と声をかけています。大きな声であいさつをされると、とても幸せな気分になります。「がんばれ」「ありがとう」と大きな声で言われるのも、気持ちがいいものですね。

ところが、悪口や馬鹿にしたり攻撃したりする言葉を聞くと、悲しい気持ちや怒り、恐怖などを感ずります。先日行われた学校保健委員会では、幼い子どもころから言葉の暴力を受け続けると、脳の一部分が変形してしまい、うまく会話ができなくなってしまうということが、医学の研究で分かったそうです。

では、聞いた人の気持ちが良くなり、笑顔になるような「ポジティブ・コミュニケーション」をするためには、どうしたらいいのでしょうか。

3 つのコツがあるとのことでした。

① いいところ探しをする

自分では、なかなか気づくことができない「いいところ」を周りの人で探してあげて、伝えることです。家庭でもぜひお子さんのいいところをほめてあげてください。

② 感謝「ありがとう」と伝える

「人にやってもらって当たり前」「やってもらうことは普通」なんてことはありません。みんな特別なことなのです。ぜひ「ありがとう」と言葉で感謝をしましょう。

③ ネガ・ポジ変換

人はついつい悪いところを探してしまいがちです。しかし、悪いところも、見方を変えれば、良いところに変わります。

- ・いちいち細かい ⇒ 細やかで丁寧
- ・落ち着きがない ⇒ 行動的
- ・がんこ ⇒ 意志が強い
- ・心配性 ⇒ 慎重 よく考えてから行動する

この 3 つのコツを使って、うれしくなる、楽しくなる、幸せになるようなポジティブ・コミュニケーションをたくさん広めていきましょう！

親子でつくる三行詩 優秀賞 表彰式

1月15日(火)

北部小学校区青少年問題協議会長と青少年育成推進員連絡協議会長のお二人をお招きして、表彰式を行いました。受賞した3名の作品を紹介します。

今日の出来事 話してみれば

つながる 深まる

家族のきずな

「ありがとう」って 言ったときも

言われたときも うれくなるね!

みんなで言おう「ありがとう」

聞いてよ 聞いてよ 今日のこ

話して 話して いろいろなこ

一緒に笑い悩んでくれる とてもすてきなわたしの家族



給食集会 「学校給食に感謝しよう」

1月22日(火)

全国学校給食週間にちなんで、いつもおいしい給食をつくってくださっている栄養士さん、給食技師さんたちに、感謝の気持ちを伝える給食集会を開きました。

初めに、代表の子が感謝の言葉を伝え、その後、お礼の手紙をみんなで手渡しました。技師さんたちからは「わたしのおすすめメニュー」の紹介、栄養士さんには給食の献立の決め方や給食が出来上がるまでの時間などについての説明をしてもらいました。

1月21日(月)～25日(金)は「日本郷土料理めぐり」として、岩手県のせんべい汁、山梨県のほうとう、山口県のおおひら、長崎県のちゃんぽん、北海道の石狩汁が提供されました。1・2年生のクラスでは、栄養士さんや給食技師さんたちとの会食も行われました。



北部グランプリ ～校内長なわ大会～

2月15・22日(金)

一人一人の体力とクラスの結束が高まることを期待して、校内長なわ大会を開催します。初めの日がプレ大会、二日目は本番です。朝行事の時間を使って、クラスごとに分かれ、3分間でのべ何人が跳べるかを競います。

子どもたちは、寒風が吹きすさぶ中でも、休み時間になると、楽しみながら自主的に練習に励んでいます。

